

血統表

ホッコータルマエ 鹿毛 2009	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo	Mr. Prospector	Raise a Native
				Gold Digger
		Miesque		Nureyev
				Pasadoble
		ラストタイクーン		トライマイベスト
				Mill Princess
	マンファス	Pilot Bird		Blakeney
				The Dancer
		Runaway Groom		Blushing Groom
				Yonnie Girl
		Cherokee Run		Silver Saber
				Dame Francesca
シンデレラメイク 栗毛 2015	マダムチェロキー 鹿毛 2001	Unbridled		Fappiano
				Gana Facil
		Bold Foil		Bold Forbes
				Perfect Foil
		アンフォイルド		
	ディーブインバクト 鹿毛 2009	サンデーサイレンス		Halo
				Wishing Well
		ウインドインハーヘア		Alzao
				Burghclere
		Loup Sauvage		Riverman
				Louveterie
シンデレラメイク 栗毛 2015	ラヴアンドバブルズ	バブルドリーム		Akarad
				バブルプロスペクター
		Fly So Free		Time for a Change
				Free to Fly
		キャプテンスティヴ		Vice Regent
				Sparkling Delite
	プリンセスメイク 栗毛 2007	Sparkling Delite		Sparkling Topaz
				Roberto(USA) 1969
		リアルシャダイ		Desert Vixen
				ノーザンデースト
		トロピカルメイク		シャバネーズ

クロス：なし

種 牡 馬

ホッコータルマエ

- 2009年生 鹿毛 狹伏産
- 競走成績 日UAE39戦17勝
チャンピオンズC (G1)、東京大賞典 (G1) 2回、JBCクラシック (Jpn1)、帝王賞 (Jpn1) 2回、川崎記念 (Jpn1) 3回、かしわ記念 (Jpn1)
- 種牡馬成績 2017年から供用中
- 【主な産駒】ブリッツファンク (兵庫CS)、ブライアンセンス (マーチS)、レディバグ (スパーキングLC)、メイショウフンジン (佐賀記念)、ゴライコウ (JBC 2歳優駿)



©優駿

ブルードメアサイアー

ディーブプリランテ

- 2009年生 鹿毛 新冠産
- 競走成績 日本ダービー (G1)、東スポ杯2歳S (GII)、皐月賞 (G1) 3着
- 主な産駒／母の父として：ケイズレーヴ (名古屋秋の鞍)、センタースリール (木更津特別)／父として：エルトンパローズ (毎日王冠)、モズベッロ (日経新春杯)、セダプリランテス (中山金杯)、ラプタス (兵庫ゴールドT)、ミッキープリランテ (ニューイヤーS)

● 牧場コメント

骨格がしっかりして脚の曲がりなどもなく綺麗で、筋肉も張っていたので良かったなと思ったのが産まれた時の第一印象です。成長過程で全く病気をしなかったもので助かりましたし、夜間放牧でも元気に走り回っていました。骨は丈夫ですし、程よく筋肉が付いています。歩様も綺麗で踏み込みも深いですし、蹴り出す力もあります。気になるところは特にありません。私達は育成場に移動した時に、いかに楽に調教を始められるかを根本に持って管理をしているので、気性面は全く気になるところがないですね。放牧地ではリーダーが日によって変わっていたのですが、本馬もリーダーの取り合いをしていました。他の牧場と比べても与える飼料は多い方だと思うんですが綺麗に食べていましたし、当歳時は下痢をする馬が多いですが本馬はそういった事も全然なかったので腸は強いと思います。母は中央の芝で2勝を上げていますが重い馬場でも走っていたので、ダートの血を入れたいと思いホッコータルマエを配合相手に選びました。ご出資いただいた会員様に、一つでも多く良い結果を届けられるように頑張ってくれたらと思います。(ガーベラパークスタッド・本巣氏)

POINT

地方ダートで活躍馬を多く出しているホッコータルマエの産駒。幼さを残す馬体だけに良化の余地は大きく、どのように成長した馬体でデビューを迎えるか、楽しみは大きい。

個体および検査情報

◎ノド内視鏡検査＝グレード1

グレード1：左右披裂軟骨の動きに差異はなく、完全な外転が可能で維持されます。(喉頭蓋がやや薄いです。成長待ちです。)

◎レントゲン検査

前肢種子骨評価＝左 (外0、内0) 右 (外0、内0)

グレード0：骨に異常形成された線状陰影を有さず、輪郭も概ね正常

大腿骨ボーンシスト＝左 (所見なし)、右 (所見なし)

右前球節：外側種子骨がやや不整です。

● 獣医師コメント (カワタエクワインプラクティス・浮田悦子獣医師)

右前外側種子骨の不整は、現状では大きな問題になる可能性は低いと考えます。

※ノド内視鏡検査、レントゲン検査は9月10日に行いました。

※検査情報は募集開始時点での担当獣医師の見解であり、将来的な健康状態を保証するものではありません。

遺伝子検査

SP遺伝子検査

C:C 短距離適性

体高遺伝子検査

A:A 傾向＝低

測尺

体高

151cm

胸囲

176cm

管囲

19.5cm

(2025年9月30日時点) ※最新の馬体重はホームページをご参照ください。